



このような事例について、今後文部科学省からも情報提供を行う予定。

(3) 端末整備の費用の負担を軽減するため、関係省庁と連携しつつ、関係事業者などと意見交換をしているところ。

今後、有用なサービスなどが提供される場合は、随時情報提供を行う予定。

また、高等学校では、令和4年度から新学習指導要領に基づき、プログラミングなどについて学ぶ「情報Ⅰ」が共通必修科目となります。

同月24日に閣議決定された「デジタル社会の実現に向けた重点計画」では、「高等学校段階の一人1台端末については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用も含め、各都道府県における整備状況を国としてフォローアップし、必要な取組を促す」としています。

これらを踏まえ、高等学校でも一人1台の端末の環境を早急に整備することが求められています。

▼GIGA スクール構想における高等学校の学習者用コンピュータ端末の整備の促進について（通知）

[https://www.mext.go.jp/content/20211228-mxt\\_shuukyo01-000011648\\_001.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20211228-mxt_shuukyo01-000011648_001.pdf)

◇◆ トピックス (2) .....

文部科学省「令和3年度 教育委員会における学校の働き方改革のための取組状況調査結果」を公表

.....◆◇

文部科学省は12月24日、「令和3年度 教育委員会における学校の働き方改革のための取組状況調査結果」を公表しました。

この調査結果は、1,793の教育委員会が所管する、各学校の働き方改革に対する取り組み状況について回答をまとめたものです。

労働安全衛生法体系では、ICカードやタイムカード、パソコンの使用時間を記録するなどの客観的な方法で、勤務実態を把握することを義務化しています。

そのような方法で勤務実態を把握している学校の割合は、以下の通りです。

都道府県 100%（前年度 91.5%）

政令市 100% (前年度 85.0%)  
市区町村 85.9% (前年度 71.3%)

前年度に比べて大きく伸び、適正な勤務時間の把握が全国的に進んでいることがわかりました。

文部科学省は、国としての今後の取り組みに以下の5点を掲げています。

- ・ 小学校高学年の教科担任制の推進や、支援スタッフの充実など、教員しかできないことに全力投球できる環境を整備する
- ・ 客観的な勤務実態の把握がすべての市区町村で行われるよう、進捗状況等をフォローアップし、支援スタッフの補助金交付時に前提条件とする
- ・ ICTを活用した校務効率化や教員業務支援員の活用事例を横展開する
- ・ 改正給特法を踏まえた勤務時間の上限方針策定をフォローアップする
- ・ 各取り組みのフォローアップと取り組み事例の情報を発信する

▼令和3年度 教育委員会における学校の働き方改革のための取組状況調査結果

[https://www.mext.go.jp/content/20211221-mxt\\_zaimu-000019724\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20211221-mxt_zaimu-000019724_1.pdf)



★☆☆ 情報セキュリティ事故の発生状況 (2022年1月11日調査)

☆☆★ (1) 紛失・置き忘れ：11件 (2) 誤配布：2件 (3) 誤送信：2件

☆☆★ (4) 誤掲示：1件 (5) 設定ミス：1件

☆☆★ >> <https://school-security.jp/leak/>

2021年12月8日～2022年1月11日に合計17件の事故が発生しました。

情報セキュリティ事故の内訳と概要 (都道府県名、公表日、組織区分、漏えい経路・媒体、個人情報数) は以下の通りです。

(1) 紛失・置き忘れ

岐阜県 2021年12月9日 県立高等学校 書類 1件

岐阜県 2021年12月9日 県立高等学校 書類 1件

北海道 2021年12月9日 公立高等学校 USBメモリ 約120件

大阪府 2021年12月9日 市立保育園・保育所 書類 1件

大阪府 2021年12月9日 市立保育園・保育所 1件

新潟県 2021年12月14日 県立高等学校 書類 26件

茨城県 2021年12月17日 市児童館・学童クラブ 書類 13件

滋賀県 2021年12月21日 県立特別支援学校 書類 1件  
東京都 2021年12月27日 中学校 書類 1件  
千葉県 2021年12月27日 市立保育園・保育所 デジタルカメラ 不明  
大阪府 2022年1月7日 市立中学校 書類 1件

(2) 誤配布

大阪府 2021年12月9日 市立小学校 書類 1件  
大阪府 2021年12月9日 小学校 書類 1件

(3) 誤送信

福島県 2021年12月23日 公立大学 電子メール 不明  
東京都 2021年12月24日 都立高等学校 電子メール 1件

(4) 誤掲示

大阪府 2021年12月9日 市立小学校 インターネットサービス・アプリ 2件

(5) 設定ミス

埼玉県 2021年12月6日 県立教育センター インターネットサービス・アプリ 32件

※以下の参考サイトをもとに、学校、公的教育機関、関連組織で発生した情報セキュリティ事故の内訳と概要を掲載しております。事故の詳細は、上記に記載されている項目を検索するなどして、ご確認をお願いいたします。

参考サイト：

産経ニュース／朝日新聞デジタル／岐阜新聞 Web／北海道新聞「どうしん電子版」／  
大阪市ホームページ／新潟県ホームページ／茨城新聞クロスアイ／京都新聞ウェブサイト／  
東京都教育委員会／FNN プライムオンライン／  
浦安市公式サイト／千葉日報オンライン／ニュースサイト「毎日新聞」／埼玉県ホームページ／  
Security NEXT／ScanNetSecurity

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■  
□【3】 学校 ICT・セキュリティコラム ～研究を重ねた専門家が指南～  
■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

---

◆コンピューターを持って学びの海を航海しよう◆  
ISEN 委員長 山西潤一

---

新年、明けましておめでとうございます。

新型コロナの感染拡大が収まるかと思いきや、  
新たな変異株オミクロンが世界に拡大、  
日本でも心配な状況になってきました。  
早く、平穏な日々が来ることを願うばかりです。  
そんななかでも、未来ある児童・生徒の教育の質を  
低下させるわけには行きません。  
GIGA スクール構想で一人1台端末や高速大容量の環境整備は整いました。  
いよいよ本格的に、新たな教育へのパラダイムシフトを加速させる段階です。

学習指導要領が求める学習の基盤となる資質・能力としての、  
言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力をどう育てるか、  
従来のICT利活用の延長線ではありません。  
Society5.0時代は、情報化が益々進展し  
VUCA（Volatile Uncertain Complex Ambiguous：  
予測困難で不確実、複雑で曖昧）な時代と言われています。  
その時代を生きる資質・能力として、  
OECDはEducation 2030を発表しました。  
ラーニングコンパスをもって、自らの学びを自らが主体的にかじ取りしながら、  
新たな価値を創造し、様々な対立のジレンマにうまく対処し、責任ある行動を取る、  
そんな資質・能力をもった児童・生徒を育てる教育です。  
アクティブ・ラーニングが求める  
「主体的で、対話的で深い学び」にもつながっています。  
もはや学校だけが学びの場ではありません。  
家庭、地域など、いつでもどこでも誰とでも、  
いわゆるユビキタスな学習環境のもとで学べる時代なのです。  
GIGA スクールの一人1台端末や高速大容量のネットワーク環境は  
そのためのインフラです。

自らの学びを自らが主体的にかじ取りするといっても、教師の指導は重要です。  
単に知識や技術の習得のための学習なら、  
今頃、YouTubeなどの関連サイトに、  
よく分かる教材動画が山のように溢れています。  
教師の役割も変わらざるを得ません。  
何のために学ぶのか、学習の目当てや手立ての指導、学んだ成果を社会にどう生かすか、  
インプットだけの学習ではなく、アウトカムが求められるのです。  
個々の教科で学んだ知識やスキルのみならず、  
インターネットで様々な情報を調べ、協働でレポートにまとめ、  
関係機関に提言するという社会課題の解決に直結するような学習活動です。  
学ぶ目標が明確であれば、子どもたちはいきいきと学習に取り組みます。  
わからない、学んでいないことは自ら調べる、専門家に問い合わせるなど、

そのまま社会で通用する活動につながるのです。  
STEAM 教育やプログラミング教育も始まりましたが、  
みなねらいは全く同じです。  
単にプログラミングスキルを学ぶのではありません。  
暮らしや社会にとって何が必要かを考え、  
それを形にしていく問題発見・解決学習です。  
ここでは、教師は児童・生徒とともに学び、  
問題解決にあたるファシリテーターです。

GIGA スクールの G はグローバル、I はイノベーションです。  
ISEN では、国際的視野を持って、志ある皆さんとともに、  
子どもたちが自らの端末を持って、  
学びの海を航海する教育イノベーションにつながる活動を、  
展開していきたいと思えます。  
本年もどうぞよろしく願いいたします。

▽ 学校 ICT に精通した先生方の書き下ろしコラム

>> <https://school-security.jp/column/>

……◆◆ 「個人情報漏えい事故の発生状況調査報告書（第2版）」を公開 ◆◆……

「令和2年度 学校・教育機関における個人情報漏えい事故の発生状況」  
調査報告書を更新しました（11月12日時点での調査結果を反映）。  
研修会などでご活用ください。

>> [https://school-security.jp/leak\\_all/](https://school-security.jp/leak_all/)

---

<事務局>

教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会（ISEN）

〒105-0013 東京都港区浜松町1-30-5 浜松町スクエア2階（株式会社JMC内）

<https://school-security.jp/>

---

▽ 「教育の情報化や学校情報セキュリティ対策」にご興味をお持ちの方が  
いらっしゃいましたら、本メールマガジンをご紹介ください。  
メルマガ登録フォーム：<https://fs220.xbit.jp/y592/form2>

▽ 個人情報の取り扱いは下記リンクをご参照ください。

<https://school-security.jp/privacy>

▽ お問い合わせ・配信停止・メールアドレスの変更は、  
下記フォームよりご連絡ください。

<https://fs220.xbit.jp/y592/form3>